

3. ボディーボード活動【所要時間 120分～170分 50名】

(1) ねらい ボディーボードを使って波乗りをする活動を通して、波の力をはじめとする自然の偉大さやすばらしさに触れるとともに、波乗りのきまりを守り海に親しむ喜びを味わう。

(2) 事前指導・準備

- 児童・生徒：水着，ぬれてもよい靴，バスタオル，着替え，ぬれてもよいTシャツ
- 引率者：救急薬品，バディ（2人組）編制
- 所員：ボディーボード，救命胴衣，ハンドマイク，業務用無線

(3) 指導上の諸注意（引率者）

- 「決められた範囲内で活動」「油断しない」「無理をしない」等，安全についての事前指導を徹底させる。
- 引率者の役割分担（本部，指導係，監視係，保健係，連絡係等）を明確にし，所員との実施上の連絡を密にする。
- 活動前に必ず身体の状態を観察を行う。
- 活動中，細心の警戒を怠らないようにし，子どもたちの安全についてあらゆる角度から注意する。
- 互いに衝突しないように，波乗りには細心の注意をさせる。

(4) 活動展開例

活動内容	時間(分)	児童・生徒の活動と活動への支援	備考
1. ボディーボード活動の準備を行う。		●宿泊棟で水着に着替え，着替えを袋等に入れ，プールの更衣室に整理整頓しておく。	
2. 集合，点呼，健康観察をする。	5	●体調の悪い時には，引率者に申し出る。	●つどいの広場
3. 説明を聞き，用具を受け取る。	15	●救命胴衣を着用する。 ●ボディーボードの配布，諸注意を行う。	●ハンドマイク ●救命胴衣
4. ボディーボード活動をする。	70 120	●引率者と所員は，協力して安全確保に万全を期し，事故防止につとめる。 ●きまりを守って安全にボディーボード活動をする。	
5. 集合，点呼をする。	5	●班ごとに，確実に人員点呼を確認する。	
6. 移動し，人員点呼をする。	15	●シャワーを浴び，砂を十分に落とす。 ●用具は砂を落とし，所定の場所に返却する。	●つどいの広場

7. プールで泳ぐ。	10	<ul style="list-style-type: none"> ●飛び込み，悪ふざけをしない。 ●プール使用上の心得を守る。 	
------------	----	---	--

備 考

- ①波が静かなときは実施できない。
- ②強風波浪注意報が出ているときや，天候（雨，風，波，雷）の状態が急に悪化した場合は，所員と引率者の相談により中止する場合がある。
- ③原則として海水温と気温の合計が45℃以下の場合は中止する。
- ④クラゲが多量に発生した場合は中止する。
- ⑤活動人数は，2交代で100名まで可。

